

科目名	教職実践演習(中学校)(演習)		科目ナンバー	LA-TT0226-Wt		
担当者 (実務経験名)	特任教授 佐長健司 特任教授 福島 真郷(中学校教諭, 小・中学校副校長・教頭, 教育委員会主任指導主事) 教授 桐生直代(高校教員)					
履修期	2年 後期			卒業単位		
免許・資格	中学校教諭二種(国語・音楽)必修、司書教諭必修 2単位					
授業概要	教育実習の成果と課題を踏まえ、学校で働く先輩の姿や現役の先生の姿に学び、教職を目指す意識と技量を高める。					
到達目標	知識・理解	実習で得た教職に関する知識や理解をさらに深めることができる。				
	思考・判断	実習経験を踏まえ、教員としての思考・判断力の基礎を身につける。				
	興味・意欲・態度	実習経験を共有し、教職を目指す意欲を高めることができる。				
	技能・表現	演習内容を踏まえ、協力して課題への討論や模擬授業等の改善を図ることができる。				
授業計画	授業内容			事前事後学習内容		時間 (時間/週)
	1	オリエンテーション。教育実習を振り返り、本授業の目的を確認。授業運営の役割分担		実習日誌を見て、教育実習の成果と課題をまとめておく		4
	2	学び続ける教師について		「教職概論」の授業を振り返り、質問事項をまとめておく		4
	3	考える力をつける思考ツールについて		教育実習の授業プリントをもとに質問事項をまとめておく		4
	4	生成AIの活用による学力育成		学校で生かす生成AIについて調べてくる		4
	5	人権教育の実際(アプローチの方途を討議する)		人権学習についての指導方法をまとめる		4
	6	中学校教師の実践に学ぶ(卒業した現任教諭の授業と講話)		学級経営について質問事項を整理しておく		4
	7	教師の働き方改革について		働き方改革についての最新の情報を調べてくる		4
	8	生徒指導の実際(掃除術を学ぶ)		小中学校の掃除の仕方を振り返り、まとめてくる		4
	9	板書の書写技能について		教育実習での板書の課題点をまとめておく		4
	10	保護者、地域との連携の実際(ロールプレイングを用いて)		保護者、地域連携の課題を調べてくる		4
	11	学科別課題(模擬授業, 教科だよりなど)		協力して模擬授業等の準備をしておく		4
	12	学科別課題(模擬授業, 教科だよりなど)		協力して模擬授業等の準備をしておく		4
	13	教職課程全体を振り返る, 教職カルテの仕上げ		教職カルテを丁寧に記述し、まとめる。		4
	14	教職課程全体を振り返り, 学んだこと, 卒業後に生かすことをまとめ, 発表する		教育実習, 各専門科目の成果と課題を再確認する		4
15	教職課程全体を振り返り, 学んだこと, 卒業後に生かすことをまとめ, 発表する		教育実習, 各専門科目の成果と課題を再確認する		4	
成績評価方法		知識・理解	思考・判断	興味・意欲・態度	技能・表現	評価割合
	筆記試験					
	レポート	○	○	○	○	20%
	課題		○	○	○	30%
	実技		○	○	○	30%
	受講状況・態度			○	○	20%
	その他()					
フィードバックの方法	提出した課題・レポート等はコメントを付けてフィードバックします。					
教科書	「音楽」教科書, 「国語」教科書(いずれも自分の教育実習実施校で使用している教科書が望ましい。健康栄養学科を除く。)					
参考書	文部科学省学習指導要領。その他必要に応じて資料を配布する。					
アクティブ・ラーニング	現場の先生の模擬授業, 自分たちの模擬授業で, それぞれの実践的な授業を体験する。また, 各授業で2人のファシリテーターがグループワークの進行やまとめを行い, 意見のまとめ方, 発表の仕方について実践力を高める。					
ICT活用	パソコン室または貸出用iPadを用いて, 学校だよりなど学校現場の資料, 文部科学省、各自治体教育委員会、各学校からの情報を精査し、理解を深めます。					
メッセージ・備考	教育実習で学びが終わってはいけません。教育実習で学んだ成果と課題をみんなでお祝いします。各回の司会等の運営も学びとします。現場の先生の姿に学び、自分自身がどのような教師を目指すのか、つくり上げていってほしい。また、教員免許取得までにさらに習得すべき知識、技能等も深めていきます					
関連科目	その他の教職専門科目					